

2022年度 輝くまちづくり交付金 実施報告書

1 事業内容

団体名	阿寒丹頂の里活性化協議会
事業名	地域連携による阿寒丹頂の里エリア活用推進プロジェクト
課題テーマ	地域経済の活性化
事業提案の背景	阿寒丹頂の里エリアは、道の駅や宿泊入浴施設、キャンプ場、レクリエーション農場、ツルセンター、美術館等を有する、全世代が楽しめるアクティビティの多機能施設である。また、道東自動車道阿寒 IC から約 15km、たんちょう釧路空港から約 20km に位置するため、道東観光のゲートウェイ的な役割を担っている。 しかし新型コロナウイルス感染症の影響により、2020 年より来訪者および利用者の急激な落ち込みがあり、地域経済（とりわけ阿寒町）に大きな影響が出ている。 アクティビティの多機能施設である阿寒丹頂の里エリアの強みを活かし、地域連携による事業展開を行い、阿寒丹頂の里および阿寒町全体における、継続性のある地域経済の活性化に繋げたい。
事業目的	◆阿寒丹頂の里エリアの多機能性を活用した AT イベント試行 現状の阿寒丹頂の里エリアは、施設が広範囲に点在しており、エリアとしての一体感が見えにくい状況になっていることが課題であると考えられる。エリア内連携によるアドベンチャーツーリズムメニュー開発を行い、多機能を活かしたい。 ◆地域・地元企業等との連携強化による新しいチャレンジ 現状においても、地域と連携したエリア形成を行っているが、本事業において、これまで以上に地域・地元企業等と連携強化した体制づくりを進めたい。 ◆地域連携による“持続可能な活性化プラン”に繋げる 本事業では、地域連携による活性化プランを整理する。そのために、阿寒丹頂の里ニーズ調査を実施し、施設の利用頻度や満足度、改善点、来訪者の行動形態、属性等についても傾向を把握し、利用者目線での課題や改善の方向性を示す。
事業概要	「阿寒丹頂の里Lab」を令和4年8月13日～14日の2日間実施し、試行的に地域内連携によるエリア形成のあり方を検討するため、地元産品の販売や新商品テスト販売、アドベンチャーツーリズムメニューの試行を実施した。併せて、ニーズ調査を実施し、来訪者視点での課題や方向性を整理・分析し、活性化プラン策定（案）としてとりまとめた。

事業展開

①地域と連携した「阿寒丹頂の里Lab」の開催

- ・ 地域住民や地域産業とより連携したエリア形成を目指すためイベントを試行した。
- ・ 地域内の企業・団体等が積極的に連携する試行的な場（Lab）とし、様々な連携の可能性にチャレンジした。来訪者も商品開発に参加し、試行した商品・メニューについてのウェブアンケート調査を実施し、意見をとりまとめた。
- ・ 地域連携の中心的な取組みとして位置づけ、毎年の恒例行事としてイベント化し、様々なモノ・コトを試行的に検討しながら阿寒丹頂の里エリアでの商品化・事業化へ繋げたい。

<イベント概要>

名称：阿寒丹頂の里Lab

会場：道の駅「阿寒丹頂の里」前庭スペース

開催：令和4年8月13日（土）・14日（日）

<展開内容>

	展開内容	連携先
野菜販売	阿寒町産野菜等の販売。地元農園の紹介ボードを作成し地域内回遊を促した。	阿寒農協 石井農園 山崎農園
Lab カフェ	オリジナルスイーツ試食付コーヒーの販売。阿寒丹頂の里の新商品となるような、地域連携による新しい商品開発を進めた。 ■商品開発メニュー ・ミルクジャム ・バスクチーズケーキ	合同会社クシロバコ
アドベンチャーLab	阿寒丹頂の里とその周辺エリア（レクリエーション農場、キャンプ場、炭鉱と鉄道館等）と連携したアドベンチャーツーリズムメニューの試行。阿寒丹頂の里の体験メニューとして商品化を目指す。 ■Lab ツアー① 鶴ガイドミキィと行く！小さな湿原ピクトツアー 1日2回開催/90分/定員各10名 ガイド：河瀬 幸 ■Lab ツアー②	阿寒国際ツルセーター 釧路サイクリング ツアーズ くしろロコサイクルPJ

	阿寒雄別鉄道と SL の歴史を巡る！E-bike ツアー 1 日 2 回開催/90 分/定員各 5 名 ガイド：松岡 篤寛											
②イベント来訪者を対象とした「阿寒丹頂の里ニーズ調査」 イベント来訪者を対象とした調査を実施し、来訪者目線での課題やニーズを把握し、課題を抽出する。												
	<table><tr><th></th><th>展開内容</th><th>担当者</th></tr><tr><td>基礎設問 ※選択①・②利用者対象 ※他、来訪者対象</td><td> ・ 来訪目的 ・ 滞在時間／内容 ・ 来訪頻度 ・ エリア内施設認知度 ・ エリア内施設満足度 ・ エリア内施設のニーズ ・ 体験メニューのニーズ ・ 回答者属性 ・ 回答者行動形態 </td><td rowspan="3">てんとせん（調査委託）</td></tr><tr><td>選択①商品開発 ※Lab カフェ利用者対象</td><td> ・ 味の感想／価格 ・ 商品名、パッケージデザインへの意見 </td></tr><tr><td>選択②AT プラン ※アドベンチャーLab 利用者対象</td><td> ・ 体験の感想／価格 ・ 体験の感想 ・ ガイドの感想 </td></tr></table>		展開内容	担当者	基礎設問 ※選択①・②利用者対象 ※他、来訪者対象	・ 来訪目的 ・ 滞在時間／内容 ・ 来訪頻度 ・ エリア内施設認知度 ・ エリア内施設満足度 ・ エリア内施設のニーズ ・ 体験メニューのニーズ ・ 回答者属性 ・ 回答者行動形態	てんとせん（調査委託）	選択①商品開発 ※Lab カフェ利用者対象	・ 味の感想／価格 ・ 商品名、パッケージデザインへの意見	選択②AT プラン ※アドベンチャーLab 利用者対象	・ 体験の感想／価格 ・ 体験の感想 ・ ガイドの感想	
	展開内容	担当者										
基礎設問 ※選択①・②利用者対象 ※他、来訪者対象	・ 来訪目的 ・ 滞在時間／内容 ・ 来訪頻度 ・ エリア内施設認知度 ・ エリア内施設満足度 ・ エリア内施設のニーズ ・ 体験メニューのニーズ ・ 回答者属性 ・ 回答者行動形態	てんとせん（調査委託）										
選択①商品開発 ※Lab カフェ利用者対象	・ 味の感想／価格 ・ 商品名、パッケージデザインへの意見											
選択②AT プラン ※アドベンチャーLab 利用者対象	・ 体験の感想／価格 ・ 体験の感想 ・ ガイドの感想											
③阿寒丹頂の里エリアとして「地域と連携したあり方・方向性」の検討（活性化プランの作成） 前述した①および②の結果を踏まえて、本会として「地域と連携したあり方・方向性」を整理し、活性化プランとして整理する。作成したプランは、釧路市阿寒町行政センターや道の駅「阿寒丹頂の里」とも共有し、本会の設立目的でもある、阿寒丹頂の里エリアの複合的な発展と釧路市阿寒町全体の活性化および観光振興を目的に活用したい。												
成果目標の達成状況	イベント来場者数 300 名 体験メニュー参加者数 22 名 アンケート回答者数 62 名 <延べ 384 名>											
波及効果の達成状況	◆地域連携の中心的行事として恒例イベント化へ繋げる 単発的なイベントではなく、地域連携の中心的な行事として継続させ、様々な地域連携の取組みを試行し事業に繋げる場として成長させたい。 ◆継続性のある地域経済の活性化に繋げる 本事業で検討したオリジナルスイーツやアドベンチャーツーリズムメニューは、今後の商品化を目指す。これをきっかけに、他の地域内連携の事業展開も検討したい。											

	◆推進プランの策定により地域内連携強化に繋げる 現状の阿寒丹頂の里エリアは、施設が広範囲に点在しておりエリアとしての一体感が見えにくい状況になっていると考えられるため、本事業のニーズ調査を踏まえ、課題や今後の方向性等を地域内で検討した推進プランの策定を行い、行政および地域へ提言したい。また協議会として、地域を牽引し活性化に繋げたい。
実施体制	阿寒丹頂の里活性化協議会（任意団体） （協力企業・団体）阿寒農協、阿寒町商工会、阿寒振興公社、阿寒国際ツルセンター、石井農園、山崎農園、（株）マルカツ、（有）阿寒観光ハイヤー（釧路サイクリングツアーズ）、てんとせん
連携した市担当課	無 ・ ☒有 （阿寒町行政センター地域振興課）
連携した市担当課が果たした役割 （※有の場合）	イベント開催時の広報協力および実施協力

2 支出決算書と支出内訳

(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	500,000	
自己資金	64,873	
イベント収入	12,000	ビオトープツアー 大人6名×2,000-
イベント収入	18,000	サイクリングツアー 大人9名×2,000-
合 計	594,873	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
委託料 (A)	110,000	広報デザイン (チラシ、SNS バナー) 野菜販売地域産品紹介ボード
印刷製本費 (B)	66,928	チラシ印刷・新聞折り込み
委託料 (C)	50,000	サイクリングツアーガイド
使用料・賃借料 (D)	78,000	キッチンカーレンタル 野菜販売コンテナ機材レンタル 運搬
役務費 (E)	12,346	ガイドツアー責任賠償保険
委託料 (F)	241,560	アンケート調査委託・推進プラン作成
使用料・賃借料 (G)	15,000	牧草ロール (写真やお絵かき用として)
小 計	573,834	
対象外経費		
阿寒国際ツルセンター 入場料	4,130	大人6人×480- 子人5人×250-
牛乳試飲代	6,000	根釧牛乳
発電機ガソリン代	1,476	
布代	8,025	
ポスカ代	1,408	お絵かき用
小 計	21,039	
合 計	594,873	